

株式会社マルシン電設

電気工事業

スーパーマーケットや食品工場向けの電気設備工事を専門とし、受変電・発電・弱電・照明・動力設備など幅広い工事を手掛ける企業。30年の実績と信頼を基盤に安定した受注を確保している。

補助事業名

さいたま市DX推進補助金

実施時期

令和6年度

申請テーマ

予定登録・日報・勤怠管理システムの導入

クラウド型管理システムによる業務改革

同社は主にスーパーマーケットや食品生産工場等の新築および改修工事を手掛ける企業である。受変電設備工事から弱電設備工事まで幅広い電気設備工事を提供し、大手食品関連企業との取引を展開している。創業以来30年にわたる信頼関係を基盤に安定した受注を確保してきた点が強みだ。照明LED化やPCB特別廃置法関連の法改正による需要増加も受注拡大に寄与している。電気設備は全業種で必要とされるため、今後も事業拡大が見込める状況にあった。

一方で人材不足により受注を見送る案件も発生していた。採用面接において求職者から労務管理システム未導入を指摘され、人材獲得の障壁となっていることを認識。手書きによる勤怠・現場管理が標準であったため、管理集計事務作業に多くの時間を費やす非効率な状況であった。現場作業後に事務所へ移動して勤怠登録を行う必要があり、往復で相当の移動時間が発生していたのである。従業員の労働環境改善と残業時間削減が急務となっていた。

この課題解決のために導入を決めたクラウドシステムは、建設業界の特性を考慮した設計になっており、現場での作業完了後にその場で日報登録や勤怠打刻ができる利便性が高い点が特徴だ。

またシステム導入により残業時間アラートメール機能を活用し、各従業員が主体性をもって工程管理を行える体制構築も目指した。将来的には生産性の向上も期待でき、同社の持続的成長に寄与すると判断したのである。導入は計画的に進められ、操作説明から実際の運用開始まで迅速に行われた。同社の担当者とITベンダーの担当者が連携して導入を推進した。

デジタル化がもたらした業務革新と今後の展望

クラウドシステム導入により、勤怠管理の集計作業において労働時間が劇的に短縮された。導入前と比較して集計業務にかかる時間は大幅に削減され、効率化が実現した。

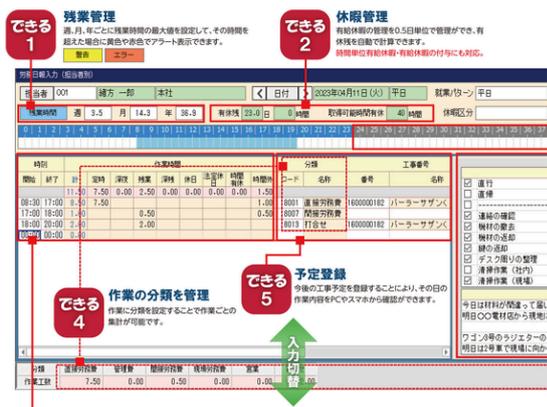
工事担当者のスマートフォン活用により、不必要な事務所への出勤が減少し、移動時間も相当削減された。現場や交通状況によっては長時間の移動が必要だった現場もあり、システム導入によって大きな時間削減効果が得られている。

さらに労働時間以外に日々の工事進捗を確認できるようになったため、より効率的な工事日程の立案も可能となった。客観的な記録による勤怠管理をクラウド上で一元化したことで、管理事務作業の負担が大きく軽減されたのだ。

しかしシステム導入初期段階では入力漏れという課題も発生した。操作に不慣れな点や研修内容の不十分さが原因と考えられる。この課題に対しては、継続的な講習実施によりシステム理解を深め、入力漏れの改善を図る方針である。現在は移行段階のため手動業務と併用している部分もあるが、このシステムは他ソフトとの連携によりExcelやPDFへの出力機能を備えている。

今後は他ソフトとの連携を強化し、勤怠管理業務のさらなる効率化を推進する計画だ。リアルタイムでの工事工程共有により、トラブル発生時の迅速対応も可能となり、リスクマネジメントの観点からも生産性向上が見込まれる。

デジタル化を通じて従業員の労働環境改善と生産性向上の両立を実現し、持続的な事業拡大を目指している。工事工程の把握機能により、客観的に労働時間の確認ができるようになったことも大きな成果である。今後は入力漏れ防止と他ソフトとの連動に取り組み、より一層クラウドシステムを活用した業務効率化を推進する方針だ。



Company Data

- 代表取締役：内山 直俊
- 所在地：埼玉県さいたま市北区
- 資本金：1,000万円
- 従業員数：4名
- 設立年月日：1978年2月20日
- URL：<https://www.marushindensetsu.co.jp/>